

JHL NEWS

No. 3

2010年9月13日

●発行
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

紡織が車体破り2連勝、北國はソニーに逆転勝利

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第2週～

第35回日本ハンドボールリーグ第2週は愛知などで男子4試合、女子6試合が行われ、男子は6連覇を狙う大同特殊鋼が前回6位の豊田合成に1点差まで迫られ、辛くも2勝目をマークした一方で、前回2位のトヨタ車体がトヨタ紡織九州に敗れて開幕2連敗。連戦となった女子は北國銀行が前回女王のソニーセミコンダクタ九州に競り勝ち、オムロン-広島メイプルレッズは両者譲らず引き分けた。

男子の大同-合成戦は、合成の3:2:1DFがよく機能し、思うようにペースがつかめない大同だったが、前半24分に地引がねじ込んで12-11と逆転すると、その後も先行を続け16-14と2点差で前半終了。後半立ち上がり、合成は芳仲のスカイプレー、榊原のポストプレーで16-17と肉薄。しかし、合成は連続して退場者を出したのが響き、4連続得点をマークした大同に8分17-22と引き離された。その後はGK東の好セーブなどで守りを固めた大同に対し、合成も今村のスピード感あふれるプレーなどで必死に追撃、残り2分からの3連続得点で26-27と詰め寄ったが、地力で勝る大同が1点差で逃げ切り、末松の100試合連続得点を勝利で飾った。

車体-紡織戦は、門山、光増、香川のバックプレーヤー陣が積極的にシュートを狙う車体に対し、紡織は藤山の3連続ミドルシュートで応戦、さらに15分過ぎからパスカットからの速攻などで4連続し13-6と抜け出した。車体は木切倉、富田を投入して流れを変えようとするが、紡織・海道、呉らの巧みなオフェンスを止められず、前半で8点のビハインドを背負う展開。後半も紡織が快調に飛ばし、10分25-15と大量リード。車体は富田をトップに据えたアタックディフェンスを仕掛け、GK坪根の好セーブも飛び出し、20分には23-27と4点差まで迫り、その後もポストにボールを集めて29分30-32と2点差まで迫ったが、惜しくも届かなかった。

女子注目の北國-ソニー戦は、立ち上がり野路(良)と横嶋の好ディフェンスでソニー・張を徹底的にマークした北國が前半14分8-6とリード。それでも張、長野がリードするソニーのオフェンスも強力で22分過ぎの2連打で11-9と形勢を逆転すると、そのまま優位をキープして14-12と2点リードで前半を終えた。後半立ち上がりもソニーが多彩な攻撃を展開して先行。しかし、北國は2次速攻などで点差を縮めていき、22分過ぎから屋嘉の3連続シュートで25-24と逆転。このあとソニーは勢いに乗った北國を止めることができず、北國が上町の通算600得点に花を添える貴重な勝利を取めた。

オムロン-広島戦は、大前のサイドシュートで先制した広島が開始6分4-0と好ダッシュ。追いかける立場となったオムロンは巻のポストシュートなどで差を詰め、24分に石立の得点で10-10とすると、さらに攻勢を続けて13-12で前半終了。後半に入るとGK藤間の安定したキーピングもあり、オムロンが14分19-17と優位をキープ。ここから試合が大きく動き、粘り強くオムロンに食らいついてきた広島は呉の連取などで4連続得点、21-19と逆に2点リードを奪った。残り90秒、25-23と広島リード。しかし、ここからオムロンが意地の2連取。白熱の一戦は決着がつかず、同点で幕を閉じた。



④開幕2連勝を飾ったトヨタ紡織九州・藤山⑤オムロンと引き分けた広島メイプルレッズ・新城

第3週の日程

9月18日(土)	千葉	市川市塩浜市民体育館(東京外口東西線南行徳駅京成バス終点から徒歩1分)	14:00~	(男)	大崎電気×琉球コラソン
	広島	湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅車10分)	13:00~	(男)	湧永製薬×トヨタ車体
	佐賀	トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅車10分)	15:00~	(男)	トヨタ紡織九州×豊田合成
9月19日(日)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	13:00~	(男)	北陸電力×大同特殊鋼
	京都	京都府立体育館(JR山陰本線円町駅北方向徒歩6分)	13:00~	(女)	H.C.名古屋×ソニーセミコンダクタ九州
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	オムロン×北國銀行
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	14:00~	(女)	広島メイプルレッズ×三重バイオレットアイリス

大崎が危なげなく2連勝

北海道での大崎電気-北陸電力戦は、立ち上がり一進一退の攻防が続いたが、大崎が豊田の速攻から4連続得点して12分6-3とリード。さらに15分から宮崎を投入して3連続得点を奪うと、その後も大崎ペースで試合を進めた。後半も大崎が宮崎のミドルシュートで好スタート。反撃したい北電は落合のポストシュート、桜井の7mスローが決まるが、大崎・GK東の好セーブに阻まれ、15分25-15と大崎優位は変わらず。終盤もスカイプーなど多彩な攻撃を見せた大崎が危なげなく勝利を飾った。

沖縄での琉球コラソン-湧永製菓戦は、新の7mスローで先行した湧永が前半13分6-2とリード。流れの悪い琉球はGKを内田から石田に交代。その石田の好セーブや高田のロングシュートなどで徐々に点差を縮め、前半を9-11で折り返した。後半に入ると立ち上がりからミスが目立つ琉球に対し、湧永は新、木村らで加点、5分14-10と水をあけた。その後はディフェンスラインを上げた湧永に対し、琉球はポスト栗崎の3連打などで粘ったが、最後は湧永が力の差を見せつけ28-21で勝利した。

愛知での女子・三重バイオレットアイリス-ソニーセミコンダクタ九州戦は、ソニーが張、田中、長野のテクニックあふれるプレーで三重ディフェンスを切り裂き、前半6分で4-1と先行。三重も速攻などで反撃に転じたがソニーペースは変わらず、18-12とソニー6点リードで前半が終わった。後半、スタミナ切れを感じさせる三重に対し、ソニーは監督兼任の郭を投入すると、その郭がステップシュート、カットイン、ミドルシュートと大暴れ。これでさらに勢いづいたソニーが9連続得点を奪って試合を決定づけた。

◆ 9月11日(土) 男子
北海道・函館市民体育館

大崎電気	34 (18-7)	24	北陸電力	1勝0分1敗
2勝0分0敗		16-17		
K	浦和	高橋	3/6	
2/2	染谷	神田	0/4	
4/5	小澤	切越	0/1	
3/4	前田	桜井	2/8	4/4
3/4	豊田	前田	2/2	
1/5	東長濱	高田	2/4	
0/0	永島	杉山	4/5	1/1
<0/5>	K	東	落合	4/7
2/3	森	廣瀬	K	
2/6	岩永	山原	2/6	
1/2	夏山	有江	K	
3/4	内田	櫛田	0/1	
6/12	石川			
7/8	宮崎			

0/0 34/55 11(FPP)9 19/44 5/5
審判(多田・中館) 観客 1223人

◆ 9月11日(土) 男子
愛知・ウィングアリーナ刈谷

トヨタ紡織九州	33 (19-11)	30	トヨタ車体	0勝0分2敗
2勝0分0敗		14-19		
<1/2>	K	松野	木下	<1/1>
1/3	中島	石戸	4/5	
1/2	西端	佐々木	3/3	
1/1	松信	藤田	3/5	
7/11	村上秀	木切倉	1/1	1/1
5/11	呉相民	北出	0/0	
0/0	佐久間	富田	7/7	
0/0	村上勝	光増	5/8	
2/3	海道	鶴谷	1/2	
K	谷川	坪根	K	
0/0	藤本	香川	0/0	
8/9	鈴木	崎前	1/2	
0/1	8/15	藤山	銘	1/1
0/2	石黒	門山	3/10	0/1

◆ 9月11日(土) 男子
沖縄・浦添市民体育館

湧永製菓	28 (11-9)	21	琉球コラソン	0勝0分2敗
1勝0分1敗		17-12		
<1/1>	K	志水	宮城	0/0
0/3	谷村	久高	0/0	
5/6	木村	村山	6/15	1/2
1/1	坂本	水野	矢	2/4
2/5	山中	栗崎	5/5	
2/4	福田	池田	0/2	
0/0	佐藤	志慶	真	1/2
3/4	名嘉	内田	0/1	<1/2>
2/8	樋口	名嘉	2/4	
6/7	新	内山	0/0	
<0/1>	K	松村	高田	4/15
4/6	古家	石田	K	<0/1>
0/1	山口	水野	紀	0/3
2/3	1/4	東長濱		

◆ 9月12日(日) 男子
愛知・三好公園総合体育館アリーナ

大同特殊鋼	27 (16-14)	26	豊田合成	0勝0分2敗
2勝0分0敗		11-12		
<0/1>	K	田中	榊原	1/3
4/9	棚原	原	0/0	
0/4	野村	野田	4/8	2/2
5/5	末松	大橋	1/2	
0/0	浦田	桶谷	1/1	
3/3	地引	森島	1/7	
7/12	武田	加藤	3/4	
0/0	岸川	藤田	K	
4/7	山城	今村	8/14	
<0/1>	K	東	中村	3/4
0/0	下村	仲	2/6	
0/0	松永	芳	堂	K
4/5	渡久川	藤	米	0/0
0/0	伊藤			

0/0 27/45 4(FPP)11 24/49 2/2
審判(佐々木・安田) 観客 924人

第2回チャレンジ・ディビジョン 9月18日に熱戦スタート

第2回チャレンジ・ディビジョン(男子)は、9月18日・西地区のHonda-HC山口戦を皮切りに熱戦がスタートする(東地区は10月30日に開幕)。

今回は、第1回からチームが若干入れ替わり、東西各5チームが参加。前回同様に東西2地区に分かれ、1回総当たりのリーグ戦が来年1月29日まで行われたあと、2月5、6日に最終順位決定戦が行なわれる。

〈参加チーム〉

▽東地区・トヨタ自動車、大同大学、HC春日井、中部大学、HC岐阜

▽西地区・Honda、HC山口、八光自動車、HCMKA、徳山クラブ

※会場、参加チームの都合で日程が変更になる可能性があるため、最新情報は日本リーグホームページ(<http://www.jhl.handball.jp/>)でご確認下さい。

第2回 チャレンジ・ディビジョン 大会日程

開催日	会場	対戦カード
10月30日(土)	トヨタ車体吉原体育館	13:00 HC春日井 vs 大同大学
		14:45 中部大学 vs トヨタ自動車
12月4日(土)	岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム	13:00 中部大学 vs HC春日井
		14:45 HC岐阜 vs 大同大学
12月11日(土)	中部大学	13:00 トヨタ自動車 vs HC春日井
		14:45 HC岐阜 vs 中部大学
1月15日(土)	トヨタ車体吉原体育館	13:00 大同大学 vs トヨタ自動車
		14:45 HC春日井 vs HC岐阜
1月29日(土)	トヨタ車体吉原体育館	13:00 中部大学 vs 大同大学
		14:45 トヨタ自動車 vs HC岐阜
9月18日(土)	神戸国際大学	13:00 Honda vs HC山口
		14:45 HCMKA vs 徳山クラブ
10月30日(土)	神戸国際大学	13:00 八光自動車 vs HCMKA
		14:45 徳山クラブ vs Honda
11月13日(土)	湧永満之記念体育館	13:00 徳山クラブ vs 八光自動車
		14:45 HC山口 vs HCMKA
11月14日(日)	湧永満之記念体育館	13:00 八光自動車 vs Honda
		14:45 徳山クラブ vs HC山口
1月29日(土)	生駒市民体育館	13:00 HC山口 vs 八光自動車
		14:45 Honda vs HCMKA

男女個人ランキング 第2週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	14点	(2試合)		1	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	24点	(3試合)
1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	14点	(2試合)		2	上町 史織	(北國銀行)	23点	(3試合)
3	宮崎 大輔	(大崎電気)	13点	(2試合)		3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	19点	(3試合)
3	今村 彰伸	(豊田合成)	13点	(2試合)		4	高橋 恵	(ソニー)	16点	(3試合)
5	小澤 広太	(大崎電気)	12点	(2試合)		5	長野 かづさ	(ソニー)	15点	(3試合)
5	野田 祐希	(豊田合成)	12点	(2試合)		6	新城 明奈	(メイプルレッズ)	14点	(3試合)
5	山城 貴志	(大同特殊鋼)	12点	(2試合)		7	高栖 由香	(ソニー)	13点	(3試合)
5	村山 裕次	(琉球コラソン)	12点	(2試合)		7	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	13点	(3試合)
9	末松 誠	(大同特殊鋼)	11点	(2試合)		7	菅谷 美奈	(HC名古屋)	13点	(3試合)
9	豊田 賢治	(大崎電気)	11点	(2試合)		7	藤井 紫緒	(オムロン)	13点	(3試合)
9	武田 享	(大同特殊鋼)	11点	(2試合)		11	大前 典子	(メイプルレッズ)	11点	(3試合)
12	木村 雅俊	(湧永製薬)	10点	(2試合)		11	東濱 裕子	(オムロン)	11点	(3試合)
12	渡久川 兼太	(大同特殊鋼)	10点	(2試合)		13	中村 香理	(北國銀行)	10点	(3試合)
12	落合 信也	(北陸電力)	10点	(2試合)		13	高田 裕梨	(オムロン)	10点	(3試合)
12	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	10点	(2試合)		13	若松 里佳	(北國銀行)	10点	(3試合)
12	高田 匠	(琉球コラソン)	10点	(2試合)		13	屋嘉 洋乃	(北國銀行)	10点	(3試合)
						13	張 素姫	(ソニー)	10点	(3試合)

フィールド得点

1	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	14点	(2試合)		1	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	21点	(3試合)
2	宮崎 大輔	(大崎電気)	13点	(2試合)		2	長野 かづさ	(ソニー)	15点	(3試合)
2	今村 彰伸	(豊田合成)	13点	(2試合)		3	新城 明奈	(メイプルレッズ)	14点	(3試合)
2	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	13点	(2試合)		4	高栖 由香	(ソニー)	13点	(3試合)
5	小澤 広太	(大崎電気)	12点	(2試合)		4	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	13点	(3試合)
6	山城 貴志	(大同特殊鋼)	11点	(2試合)		4	上町 史織	(北國銀行)	13点	(3試合)
6	武田 享	(大同特殊鋼)	11点	(2試合)		7	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	12点	(3試合)
8	木村 雅俊	(湧永製薬)	10点	(2試合)		7	藤井 紫緒	(オムロン)	12点	(3試合)
8	渡久川 兼太	(大同特殊鋼)	10点	(2試合)		9	大前 典子	(メイプルレッズ)	11点	(3試合)
8	落合 信也	(北陸電力)	10点	(2試合)		9	菅谷 美奈	(HC名古屋)	11点	(3試合)
8	豊田 賢治	(大崎電気)	10点	(2試合)		9	東濱 裕子	(オムロン)	11点	(3試合)
8	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	10点	(2試合)						
8	高田 匠	(琉球コラソン)	10点	(2試合)						

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	小澤 広太	(大崎電気)	12点/14射	0.857		1	新城 明奈	(メイプルレッズ)	14点/17射	0.824
2	渡久川 兼太	(大同特殊鋼)	10点/13射	0.769		2	高栖 由香	(ソニー)	13点/16射	0.813
2	木村 雅俊	(湧永製薬)	10点/13射	0.769		3	大前 典子	(メイプルレッズ)	11点/16射	0.688
4	宮崎 大輔	(大崎電気)	13点/18射	0.722		4	星野 美佳	(バイオレットアイリス)	13点/20射	0.650
5	落合 信也	(北陸電力)	10点/14射	0.714		5	長野 かづさ	(ソニー)	15点/28射	0.536
6	豊田 賢治	(大崎電気)	10点/15射	0.667		6	菅谷 美奈	(HC名古屋)	11点/23射	0.478
7	今村 彰伸	(豊田合成)	13点/22射	0.591		7	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	21点/44射	0.477
7	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	13点/22射	0.591		8	東濱 裕子	(オムロン)	11点/25射	0.440
9	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	14点/24射	0.583		9	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	12点/31射	0.387
10	山城 貴志	(大同特殊鋼)	11点/19射	0.579		10	藤井 紫緒	(オムロン)	12点/32射	0.375

7mスロー得点

1	桜井 渉	(北陸電力)	5点	(2試合)		1	上町 史織	(北國銀行)	10点	(3試合)
2	野田 祐希	(豊田合成)	4点	(2試合)		2	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	7点	(3試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	3点	(2試合)		3	高橋 恵	(ソニー)	6点	(3試合)
4	末松 誠	(大同特殊鋼)	2点	(2試合)		4	戎野 満梨奈	(バイオレットアイリス)	4点	(3試合)
4	東長濱 秀作	(湧永製薬)	2点	(2試合)		5	伊藤 亜衣美	(バイオレットアイリス)	3点	(3試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	吉田 耕平	(大崎電気)	2本/3射	0.667		1	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	2本/4射	0.500
1	内田 武志	(琉球コラソン)	2本/3射	0.667		2	藤間 かおり	(オムロン)	4本/9射	0.444
3	石田 孝一	(琉球コラソン)	2本/4射	0.500		3	寺田 三友紀	(北國銀行)	4本/10射	0.400
3	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	1本/2射	0.500		4	中島 亜樹	(ソニー)	3本/12射	0.250
5	田中 雄大	(大同特殊鋼)	1本/3射	0.333		4	近藤 澄江	(HC名古屋)	1本/4射	0.250
						4	浅井 友可里	(バイオレットアイリス)	1本/4射	0.250

◇日程変更

(変更前) 10月10日(日) 小松市末広体育館
 13:00 オムロン-ソニーセミコンダクタ九州
 15:00 北國銀行-広島メイプルレッズ

(変更後) 10月10日(日) 小松市末広体育館
 12:00 オムロン-ソニーセミコンダクタ九州
 14:00 北國銀行-広島メイプルレッズ

※会場、試合日に変更はありません。

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第2週終了 9月12日

順位	男子	大崎電気	トヨタ紡織九州	大同特殊鋼	湧永製薬	北陸電力	豊田合成	トヨタ車体	琉球コラソン	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気					34 ○ 24		32 ○ 30		2	2	0	0	4	66	54	12
2	トヨタ紡織九州							33 ○ 30	28 ○ 22	2	2	0	0	4	61	52	9
3	大同特殊鋼				27 ○ 22		27 ○ 26			2	2	0	0	4	54	48	6
4	湧永製薬			22 ● 27					28 ○ 21	2	1	0	1	2	50	48	2
5	北陸電力	24 ● 34					26 ○ 25			2	1	0	1	2	50	59	-9
6	豊田合成			26 ● 27		25 ● 26				2	0	0	2	0	51	53	-2
7	トヨタ車体	30 ● 32	30 ● 33							2	0	0	2	0	60	65	-5
8	琉球コラソン		22 ● 28		21 ● 28					2	0	0	2	0	43	56	-13

順位	女子	北國銀行	オムロン	広島メイプルレッズ	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行			26 ○ 21	28 ○ 26		27 ○ 17	3	3	0	0	6	81	64	17
2	オムロン			25 △ 25	17 ○ 15	32 ○ 14		3	2	1	0	5	74	54	20
3	広島メイプルレッズ	21 ● 26	25 △ 25				39 ○ 16	3	1	1	1	3	85	67	18
4	ソニーセミコンダクタ九州	26 ● 28	15 ● 17			39 ○ 25		3	1	0	2	2	80	70	10
5	三重バイオレットアイリス		14 ● 32		25 ● 39		33 ○ 25	3	1	0	2	2	72	96	-24
6	HC名古屋	17 ● 27		16 ● 39		25 ● 33		3	0	0	3	0	58	99	-41

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。